

総括会議

司会（緒方亮一福岡市国際部長） 定刻となりましたので、「アジア太平洋都市サミット」総括会議を始めさせていただきます。総括会議とこの後行われます共同宣言採択会議の座長につきましては、勝手ながら全体会議と同じく桑原敬一福岡市長とさせていただきたいと存じます。どうぞ、ご了承ください。

それでは、桑原福岡市長、座長をよろしくお願いいたします。

桑原座長 それでは、座長の役を務めさせていただきます。この総括会議では、昨日の全体会議、本日午前中の分科会での討議を踏まえて、本サミットが目指しております都市問題の解決に向けた相互協力のあり方などについて意見を交換いたしたいと思えます。まず、各分科会の座長より報告を受けたいと思えます。第1分科会「都市と交通」での討議内容について、赤崎鹿児島市長さんにご報告をいただきます。

赤崎義則市長 桑原座長、アジア太平洋の代表の皆さん、参加者各位、それでは第1分科会の報告をさせていただきます。第1分科会は、鹿児島市、バンコク市、福岡市、広州市、クアラルンプール市、那覇市、大分市、釜山直轄市の8都市で構成し、「都市と交通」というテーマに関しまして各都市の発表並びに発表を踏まえた意見交換をいたしました。

まず、各参加者のご協力により、交通問題の解決に向けた有意義で活発な意見交換が行われましたことをご報告いたします。分科会での具体的な内容でございますが、まず各都市からの発表について概ね共通している点を集約いたしますと、いずれの都市においても都心部に交通が集中し、都心部やその流入部で渋滞が発生することにより、都市機能に深刻な影響を及ぼしている、或いは及ぼしつつあるということが挙げられました。そのための対策としては、環状道路や高速道路の整備、軌道系交通機関の整備並びに交通管理管制の強化などが挙げられております。その他環境に配慮し、人にやさしい社会をつくるという視点から、交通問題の解決を図ること、公共交通機関の利便性を向上させマイカーからの転換により交通量の削減を図ること、職住接近、副都心のまちづくりにより都市構造を交換して渋滞の緩和を図ることなどの施策についての発表もありました。又、特に重要な事項でございますが、釜山直轄市から実務者レベルの交流として、「アジア太平洋都市交通政策開発のつどい」の開催の提案がありました。更にコメンテーターの吉田教授からは各都市の発表を踏まえ、総括的な都市交通の問題点の指摘と各都市の交通の特徴的な課題を整理していただきました。次に、各都市の発表、吉田教授のコメント等を踏まえた意見交換におきましては、交通渋滞改善のための交通管理政策における市民参加による交通量低減の状況について、釜山直轄市、バンコク市、広州市の興味ある事例が紹介され、ソフト面の対策の重要性とそのあり方、今後の見通しなどについて活発な意見交換がなされました。又、道路の立体化や交通状況に応じた信号の自動制御システムの導入等による道路交通の

円滑化についても実例を踏まえて議論が行われました。更に交通施策を整備する財源について、都市独自の財源が少ないことから来る問題点等についても、意見交換が行われました。これらの討議を踏まえ、総括的に吉田教授から都市交通改善に対する施策として、道路と鉄道の重層的なネットワークづくり、地下鉄・バス等の公共交通の整備や交通需要のマネジメント施策など8項目の施策が紹介され、都市交通問題の解決に当たっては、これらを総合的に組み合わせたマスタープランの策定、人材の育成、市民の交通問題に対する理解等が重要であるという貴重なアドバイスがなされました。交通問題をはじめとする都市問題の解決には、各都市の相互協力が重要であり、本サミットを継続して開催すべきとの意見がありました。その内容といたしましては、各都市持ち回りで2年に1回開催し、その事務局としては福岡市に置くという内容でございます。更に広州市から2回目のサミットを同市において開催したいという発言があったことを申し添えておきます。次に、釜山直轄市から提案されました「アジア太平洋都市交通政策開発のつどい」の開催について論議いたしましたところ、本サミットが2年に1回の開催となれば、その中間年にこのつどいを開催するという意見が提示されました。これらの提案の件につきましては、総括会議におきまして検討していただきたいと存じます。以上で第1分科会の座長の報告を終わります。ありがとうございました。(拍手)

桑原座長 ありがとうございます。次に第2分科会「都市と住宅」での討議内容について本島長崎市長さんよりご報告をいただきます。

本島 等市長 桑原座長、参加者各位、ご来席の皆さん、第2分科会を代表いたしまして、報告をさせていただきます。第2分科会は、長崎市、オークランド市、福岡市、ホーチミン市、北九州市、上海市、シンガポール市の以上7都市で構成し、「都市と住宅」のテーマに関しまして、各都市の発表並びに発表を踏まえた意見交換をいたしました。まず、各参加者のご協力により住宅問題の解決に向けた有意義な活発な意見交換が行われたことをご報告いたします。次に、分科会での具体的な内容でございますが、まず各都市からの発表について集約いたします。各都市の住宅事情を見ますと、一般的に住宅の整備につきましては、まず量的充足を目指す、それから質の向上や多様なニーズへの対応、更にはより良い住環境へと目指していくという傾向をたどるようであります。しかし、現在、住宅問題の解決に向けて、各都市が置かれている状況は各々異なっており、住宅の量的不足解消を目指して施策に取り組まれている都市から、一定の量の確保を終え質的な向上を目指して取り組まれている都市にわたっていることがわかります。それらの住宅問題の解決に向けた取り組みは、その国独自の社会制度や社会政策に大きな影響を受け、財政負担や土地政策、民間市場の発達等と密接な関わりがありますが、住宅政策の手法としましては、公共の積極的指導により推進しているものと、公共の民間誘導により推進しているもの、民間主導によるものとに大別されるようであり、更に公共と民間との新しいパートナーシップの模索が始まっていることも理解できます。又、都市の固有の問題として、規制市街地の住環境改善について住民参加型のコミュニティーを重視した整備事例の紹介があり、住環境の整備には住民参加の重要性が改めて示され、興味深いものがありました。共通の認識といたしまして、住宅は生活の基本的必需品であると同時に都市を形づくる基本的要素であり、更には家族が暮らす場であり、健全な子供の育成など社会環境に大きな影響を持つもので、都市課題の中では住宅対

策は優先的課題であるとの一致も見ました。住宅問題をはじめとする都市問題の解決には、都市の相互理解と相互協力が必要であり、これからもこのようなサミットを継続して行うことが必要であるとの共通の認識を得たことをご報告申し上げます。以上でございます。ありがとうございました。(拍手)

桑原座長 ありがとうございました。次に第3分科会の「都市と環境・衛生」での討議内容について、西村佐賀市長さんよりご報告いただきたいと思ひます。

西村正俊市長 桑原座長、参加の各位、ご来席の皆様、第3分科会を代表いたしまして、報告をさせていただきます。第3分科会は、佐賀市、福岡市、香港、イポー市、ジャカルタ特別市、熊本市、マニラ市、宮崎市の以上8都市で構成し、「都市と環境・衛生」のテーマに関しまして、各都市の発表並びに発表を踏まえた意見交換をいたしました。第3分科会では、各参加者のご協力により、環境・衛生問題の解決に向けた有意義で活発な意見交換が行われたことをまずご報告いたします。次に、分科会の具体的な内容でございますが、まず、各都市からの発表について集約しますと、各都市におけるごみに関する課題は、ごみが増加をしている中で、ごみの回収方法、ごみの減量、リサイクル、処理技術など環境保全に配慮しつつ、いかにうまく行くかということでありました。このような課題に対する対策としての特徴的な取り組みといたしましては、ごみの六分別収集、夜間収集、資源回収業者の育成、市民啓発、処理施設の整備等が挙げられました。又、ごみに限らず、下水処理、上水道、河川浄化、都市の環境整備など広く発表がなされました。又、コメンテーターの花嶋教授からは、このような発表に対して「アジア各国の共通の課題として、急速な経済発展と都市への人口の流入、不法定住者層の増加があり、日本では内需拡大に伴うごみの急増があるが、これらの共通の課題に対し、それぞれに独自の方法で取り組みが行われている」とのコメントをいただいております。次に、各都市の発表をコメンテーターのアドバイス等を踏まえました意見交換の場におきましては、分別・リサイクルは必要だが、貧しい人々の生活手段を奪ってしまうとか、ごみからのコンポストづくりを進めても製品の還元先がないなどの問題が挙げられ、また各都市共通に困っている最終処分場の設置については、跡地利用等で周辺住民に利益を還元して理解を得ようとしていることなどの事例が報告されました。又、今後の協力につきましては、焼却施設設置への技術協力やリサイクル等についての市民の協力を得るためのキャンペーンについての情報交換を行ってきたいとの意見があり、コメンテーターの花嶋先生からもそれぞれの国に出向いて、各都市の現状を知って協力を進めてほしいとのコメントをいただいております。この分科会のまとめといたしましては、環境・衛生問題をはじめとする都市問題の解決には都市の相互理解と相互協力が必要であり、本サミットを継続して開催すべきとの意見がまとまりました。以上でございます。ありがとうございました。(拍手)

桑原座長 ありがとうございました。それでは、討議に入りたいと思ひます。まず、各分科会の報告で本サミットを継続して開催すべきだというご意見がそれぞれの分科会で出ております。そこで、まず、本サミットを継続して開催するというご議論をいただきたいと思ひますが、どうでございますでしょうか。ご了承いただけますでしょうか。

(拍 手)

桑原座長 多数の拍手をいただきましたので、ご了承いただいたものといたします。ありがとうございました。そして、第1分科会から「サミット開催のための事務局を福岡市に設置しては」とのご提案がございましたけれども、この件についてはいかがでございましょうか。そのようにしてよろしゅうございましょうか。

(拍 手)

桑原座長 ありがとうございました。多数の拍手をいただきましたので、事務局を福岡市に置くということでご了承いただいたものといたします。それから、第1分科会の赤崎鹿児島市長さんより報告がありました釜山直轄市からの「アジア太平洋都市交通政策開発のつどい」のご提案について、釜山直轄市さんに、その趣旨の説明をお願いしたいと思います。どうぞ。

洪 完植交通企画課長 ありがとうございます。私ども釜山市が第1分科会で提案いたしました「アジア太平洋都市交通政策開発のつどい」の趣旨についてご説明申し上げます。

皆さんご存じのように、今日全ての大都市が交通問題で悩んでおります。私ども人間が作った最高傑作とも言える自動車が、都市問題の核心部分となっている状況です。今回このサミットに参加した各都市における文化的・地形的条件は様々ですが、各都市とも交通問題という共通問題を抱えています。この問題に対し、実務者同士が直接顔を合わせ、交通政策を研究・開発し、実行しながら評価を行う。このような、交通問題を実質的に解決していく機会をもつことが必要だと思えます。又、福岡市長がおっしゃいましたように、サミットが2年に1度開催されることになれば、この実務者レベルの会議はサミットの趣旨を補完すると同時に、サミットの継続性を維持する役割を果たすことになるのではないかと考えております。このような考えから「アジア太平洋都市交通政策開発のつどい」の開催を提案いたします。具体的な運営方法に関しては、福岡市の事務局で検討していただきたいと考えております。ありがとうございました。

桑原座長 貴重なご提案ありがとうございました。専門的な会議を設けることは、大変有意義であると思えます。今日は、交通についてのご提案でございますが、住宅、環境・衛生等の分野についても専門的な会議が将来的には必要になるろうかと思えます。そこで、まず第1回目として「アジア太平洋都市交通政策開発のつどい」を実施するというのを決定いたしまして、その開催地、開催時期、テーマ等についてはご提案者の釜山直轄市と事務局を置きます福岡市で検討いたしまして、そして後日、文書で皆様にお諮りをするのといたしたいと思えますが、いかがでございましょうか。

(拍 手)

桑原座長 ありがとうございます。多数の拍手をいただきましたので、ご承認いただいたものといたします。ありがとうございました。続きまして、昨日の全体会議、本日の分科会を通して、自由な討議をこれからお願いいたしたいと思えますが、ご発言を希望される都市におかれましては、挙手のうえ都市名とお名前をお願いいたします。特にございませぬか。特にございませぬならば、この全体

会議の討議を終了させたいと思いますが、よろしゅうございますか。

(拍 手)

桑原座長 それでは、終わらせていただきます。以上をもちまして、総括会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

共同宣言採択会議

桑原座長　それでは、今回のサミットの成果をあらわすものとして共同宣言を採択したいと思います。今までの発表・討議をもとに共同宣言案を作成いたしておりますので、事務局に朗読説明させます。

事務局（岩瀬信一郎福岡市アジア太平洋都市サミット担当課長）　私、総務局国際部「アジア太平洋都市サミット」担当課長の岩瀬と申します。それでは共同宣言案を朗読させていただきますが、その前に若干ご説明をさせていただきます。皆様方にはあらかじめ検討していただくために、共同宣言の案文を事前に送付させていただいておりましたが、その案文につきまして、いくつかの都市から修正のご意見がございましたので、若干の修正をいたしております。修正箇所は3カ所ございまして、1カ所目は2行目の後半部分からで、変更前の表現では「そして時代は国家を中心とした交流の時代から、都市や地域を主役とした交流の時代へ着実に変わりつつある」としていましたが、それを次のように変えております。「そして時代は国家を中心とした交流と同時に、その交流をさらにその下部の各地域・都市を中心として、日々生起する日常・具体的問題まで深化させ、積み上げていく方向に、着実に発展しつつある」と修正いたしております。2カ所目は、5行目の半ばで、変更前は「ネットワークの形成にかかると言っても過言ではない」としていましたが、これを「ネットワークの形成にかかっていると言える」に修正いたしております。3カ所目は7行目の「一堂に会し」の後に、「また、国際連合の参加も得て」というのを加えております。修正箇所は以上のとおりでございます。では、共同宣言案を朗読させていただきます。

世界は今日、強い相互依存関係で結ばれ、アジア太平洋も地域としての一体感を強めている。ひと・情報・物の様々な流れが休むことなくこの地球を駆けめぐっている。そして、時代は国家を中心とした交流と同時に、その交流をさらにその下部の各地域・都市を中心として、日々生起する日常・具体的問題まで深化させ、積み上げていく方向に着実に発展しつつある。

これからの世界の平和と安定は、政治・経済や言語・文化の違いを超えた、都市と都市、地域と地域の多様な交流ネットワークの形成にかかっていると言える。桑原敬一福岡市長の呼びかけにより、1994年9月22日から24日までの3日間にわたって開催したアジア太平洋都市サミットでは、11カ国・地域の21都市の代表が一堂に会し、また国際連合の参加も得て、「都市の発展と人間居住環境との調和」に向けた都市間の相互連携について議論を深めることができた。そして、各都市のおかれた状況の違いを相互に理解するとともに、いくつかの共通認識に到達することができた。

もちろん、これは小さな一歩にすぎない。しかし、都市から世界平和戦略に参画していく貴重な一歩でもある。サミット閉幕にあたり、到達した相互理解と共通認識がアジア太平洋地域の未来を開いていくかぎとなるよう、「福岡宣言」としてまとめ、ここに宣言する。

1. アジア太平洋地域のめざましい経済成長に伴い、都市は急速な発展を遂げている。しかしな

- がら、一方では交通、住宅、環境・衛生などの都市問題が生じている。豊かな風土と自然にはぐくまれたアジア太平洋地域が持続可能な発展をおこなっていくためには、経済成長と調和できるような都市の整備をすすめ、人間居住空間としての魅力を高めていくことが不可欠である。
2. 今日の都市問題は展開のスピードや広がりにおいて歴史上に例をみない。それだけに、一国、一都市だけでは解決が難しいものが多い。サミット参加都市が多様な知識と経験をもちより、都市の健全な発展と都市政策の前進に向け協力しあっていくことが重要である。
 3. 都市間の緊密な協力・連携関係は、相互に理解と友好を深めあってこそ築いていくことができる。このサミットを契機に、“face to face” “heart to heart” を大切にしながら、市民を中心に産・学・官の多様多層な交流回路を作り上げていくことが必要である。
 4. 以上の課題に共同して対処していくため、われわれは「アジア太平洋都市ネットワーク」の構築をめざす。そのため、このサミットを継続して開催することを合意し、そのための事務局を福岡市に設置することにした。アジア太平洋都市の間の平等な「学びあい」の関係は開かれた地域間協力のモデルとして、国際交流の新しいフロンティアを拓いていくことになるだろう。
- 最後に、このサミットを出発点に、「都市の発展と人間居住環境との調和」に向けた地道で息の永い取り組みが波紋のように広がることを切に願う。

1994年9月24日 福 岡

以上で説明を終わらせていただきます。

桑原座長 宣言文案は以上のおりでございます。即ち、本サミットの意義を1から4までに記載をいたしております。そして確認をいたしております。又、サミットを継続して開催すること、そのための事務局を福岡市に置くということが主な内容でございます。この文案で採択したいと思います、いかがでございましょうか。

(拍 手)

桑原座長 ありがとうございます。特にご意見がないようでございますので、原案どおり承認をいただきたいと思っております。よろしゅうございますか。

(拍 手)

桑原座長 多数の拍手をいただきましたので、ご承認いただいたものといたします。ありがとうございました。それでは、次回開催地を決定したいと思います。第1分科会において、広州市が次回は同市で開催したいと表明されておりますが、広州市長さん、いかがでございましょうか。

黎 子流市長 私ども広州市は、第2回アジア太平洋都市サミットの当地での開催を喜んでお引受けしたいと思っております。ご承認いただけましたら、その成功を自信を持ってお約束いたします。

桑原座長　ただ今、黎　子流広州市長さんより、次回を広州市で開催したいとお申し出がありました。ご了承いただきますでしょうか。拍手でご賛成をいただきたいと思います。

(拍　　手)

桑原座長　多数の拍手をいただきましたので、ご了承いただいたものといたします。次回を広州市で開催することといたします。黎　子流広州市長さんには、大変ご苦勞をおかけいたしますが、どうぞよろしく願いをいたします。以上をもちまして、共同宣言採択会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

共同宣言発表・閉会式

司会（緒方亮一福岡市国際部長） それでは、ただ今より共同宣言発表及び閉会式を開催いたします。まず、桑原敬一福岡市長より共同宣言を発表いたします。

桑原敬一市長 9月22日より、11カ国・地域の21の都市の市長さんたちに、ここ福岡市にお集まりいただき、アジア太平洋地域の都市の連携とネットワークの構築を目指す「アジア太平洋都市サミット」を初めて開催することが出来ました。参加都市の皆様のご協力により、有意義な会議を行うことが出来、21世紀に向けた新たな地域間協力のモデルとして、本サミットを継続して開催することとし、次回は広州市で開催することなどについて合意をいたしました。先ほどこのような本サミットの成果をあらわすものとして、「アジア太平洋都市サミット福岡宣言」を採択いたしましたので、ここに発表させていただきます。

世界は今日、強い相互依存関係で結ばれ、アジア太平洋も地域としての一体感を強めている。ひと・情報・物の様々な流れが休むことなくこの地球を駆けめぐっている。そして、時代は国家を中心とした交流と同時に、その交流をさらにその下部の各地域・都市を中心として、日々生起する日常・具体的問題まで深化させ、積み上げていく方向に着実に発展しつつある。

これからの世界の平和と安定は、政治・経済や言語・文化の違いを超えた、都市と都市、地域と地域の多様な交流ネットワークの形成にかかっていると言える。桑原敬一福岡市長の呼びかけにより、1994年9月22日から24日までの3日間にわたって開催したアジア太平洋都市サミットでは、11カ国・地域の21都市の代表が一堂に会し、また国際連合の参加も得て、「都市の発展と人間居住環境との調和」に向けた都市間の相互連携について議論を深めることができた。そして、各都市のおかれた状況の違いを相互に理解するとともに、いくつかの共通認識に到達することができた。

もちろん、これは小さな一歩にすぎない。しかし、都市から世界平和戦略に参画していく貴重な一歩でもある。サミット閉幕にあたり、到達した相互理解と共通認識がアジア太平洋地域の未来を開いていくかぎとなるよう、「福岡宣言」としてまとめ、ここに宣言する。

1. アジア太平洋地域のめざましい経済成長に伴い、都市は急速な発展を遂げている。しかしながら、一方では交通、住宅、環境・衛生などの都市問題が生じている。豊かな風土と自然にはぐくまれたアジア太平洋地域が持続可能な発展をおこなっていくためには、経済成長と調和できるような都市の整備をすすめ、人間居住空間としての魅力を高めていくことが不可欠である。
2. 今日の都市問題は展開のスピードや広がりにおいて歴史上に例をみない。それだけに、一国、一都市だけでは解決が難しいものが多い。サミット参加都市が多様な知識と経験をもちより、都市の健全な発展と都市政策の前進に向け協力しあっていくことが重要である。

3. 都市間の緊密な協力・連携関係は、相互に理解と友好を深めあってこそ築いていくことができる。このサミットを契機に、“face to face” “heart to heart” を大切にしながら、市民を中心に産・学・官の多様多層な交流回路を作り上げていくことが必要である。
4. 以上の課題に共同して対処していくため、われわれは「アジア太平洋都市ネットワーク」の構築をめざす。そのため、このサミットを継続して開催することを合意し、そのための事務局を福岡市に設置することにした。アジア太平洋都市の間の平等な「学びあい」の関係は開かれた地域間協力のモデルとして、国際交流の新しいフロンティアを拓いていくことになる。

最後に、このサミットを出発点に、「都市の発展と人間居住環境との調和」に向けた地道で息の永い取り組みが波紋のように広がることを切に願う。

1994年9月24日 福岡

(拍手)

司会 どうもありがとうございました。続きまして、閉会式に移らせていただきます。まず主催者を代表いたしまして、桑原敬一福岡市長よりご挨拶を申し上げます。

桑原敬一市長 「アジア太平洋都市サミット」の閉会式に当たり、会議の座長として、又、主催者として一言ご挨拶を申し上げます。私達は、この3日間、ここ福岡において「アジア太平洋時代における都市の発展と人間居住環境との調和」をメインテーマといたしまして、お互いの国情や体制を超えて、交通、住宅、環境・衛生に関する都市問題の解決に向けて、互いの知識や経験を交流し、活発な討議を繰り広げてきました。私はそれぞれの都市が置かれている社会的、文化的状況の違いこそあれ、参加都市の皆様が真に情熱と愛情を持って都市経営に取り組んでおられる姿に深く感銘を受けた次第であります。

そして、先ほど参加者の皆様の総意により採択されました福岡宣言をはじめ、今後の都市問題の解決に関する多くの成果が得られたことを誠に喜ばしく思います。又、会議の様々な場面におきまして交わされましたふれあいを通じて、参加都市の友情と理解が深まり、平和で豊かな世界の建設に貢献するであろうことを私は信じて疑わないものであります。

理解は、あらゆる友情の果実を生育する土壌であると申します。市政に携わる私どもには、様々な都市問題が山積しております。これらを1つ1つ解決していくことは容易なことではありませんが、都市問題の解決に向けて、更に英知と力を結集するとともに、互いの連携と協力をより一層密にしようではありませんか。終わりに、この会議に遠路はるばる参加していただきました皆様に、心から敬意と感謝の意を表しますとともに、参加各都市のご繁栄と参加者の皆様のご健康、ご活躍を祈念申し上げます。又、本サミットの次期開催都市に決定いたしました広州市で、再び皆様とお目にかかれることを楽しみにいたしております。政府関係省庁、国際連合をはじめ、コメンテーターの先生方、警備関係、通訳、報道の方々、そして多くの市民の温かいご支援に心からお礼を申し上げまして、私の閉会のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。(拍手)

司会 どうもありがとうございました。次に、参加都市を代表いたしまして、マニラ市のアルフレドゥ・リンム市長よりご挨拶をちょうだいいたしたいと思います。アルフレドゥ・リンム市長様、よろしく願います。

アルフレドゥ・リンム市長 桑原市長、仲間の市長の皆様、来賓各位、ご出席の皆様、こんにちは。この美しい福岡で開催された「アジア太平洋都市サミット」の閉会式に当たり、11ヵ国21都市の市長を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。このようなご挨拶の機会をいただきましたことを私は大変光栄に存じております。まず最初に、参加者を代表いたしまして桑原市長に対し、このサミットを主催し、そして最高の施設を提供し、このサミットを実り豊かにしてくださいましたことについて心からお礼申し上げます。福岡市役所の皆様方に対しても、深甚なる感謝の念を表明します。皆様のお蔭で今回の会議が大変有意義なものとなりました。桑原市長及び福岡市民に対し、私どもの都市、又、私どもの市民を代表いたしまして、温かいおもてなしとご親切に心からお礼申し上げます。このサミットの参加各位の許可を得まして、私は忌憚のない意見を述べさせていただきます。この会議は、いろいろな面でなごやかなうちに、学ぶことの多いものとなりました。この会議のお蔭でアジア太平洋地域の主要都市の市長がお互いに市政に関し意見を交流することが出来ました。この会議のお蔭で、都市共通の問題の全体像と各論を知ることが出来ましたし、解決策の策定と採択を学べました。解決策を導入することによって、都市の抱える問題を全面解決は出来なくても、その一端なりは解決出来るだろうと信じております。又、このサミットのお蔭で、アジア太平洋地域の全体図を知ることが出来たと思います。この地域は、開発を促進し、住民の生活の質の向上を目指しております。又、この会議によってネットワークづくりをすることが出来、各都市とのつながりと経済協調を目指すことが出来ます。たくさんの成果がありました。中でもこの会議の一番の成果は、参加者が友情を培うことが出来たということだと思います。真の友情と協力を深めることによってアジア太平洋地域の国際協力が更に深まるものであると私どもは期待しております。アジア太平洋地域の市長は、国境を超えて成長と開発を図るプログラムを来世紀に向けて策定することが必要だということに同意していただけることと思います。市民を結び、資源を共有し、共通の政策をとることが焦眉の急であります。それにより市民生活の質の向上を図ることが出来、貧困撲滅、疾病、そしてその他の病気等の諸悪を削減することが出来ましょう。このように志を一つにすることによって、私どもは近い将来、経済的な繁栄だけではなく、この地域の住民が幸せで満足をし、繁栄することが出来るようになるだろうと思っております。そしてまた、それだけではなく平和で安定した地域社会が生まれ、住民もこの地域も花を咲かせることになりましょう。私達は伝統も習慣も違います。しかし、アジア太平洋地域のこの都市サミットは、多様性における統一、そして統一における多様性を達成し得たと言えるのではないのでしょうか。皆様、ありがとうございました。皆様方のご繁栄をお祈りいたします。さようなら。また広州でお目にかかるのを楽しみにしております。(拍手)

司会 どうもありがとうございました。次に、次回開催都市であります広州市の黎子流市長よりご挨拶をちょうだいいたしたいと存じます。黎子流市長様、よろしく願います。

黎 子流市長　桑原市長、各市長様、皆様方、桑原福岡市長のご提唱により開催されました「第1回アジア太平洋都市サミット」は、主催都市福岡市及び全参加者のご努力によって、大成功の内によいよ閉幕を迎えることとなりました。広州市代表団を代表いたしまして、心から感謝とお喜びを申し上げます。今回の会議で採択された福岡宣言にも盛り込まれていましたように、都市の発展と居住空間の調和、並びに都市間ネットワークの構築に関する幅広い討議を通して、私達は各都市の状況について互いに理解を深めることが出来ました。又、都市の健全な発展とそのために必要な都市政策についても共通の認識を得ることが出来ました。このことは、アジア太平洋地域における都市間の連携を強化し、各都市の経済発展と都市問題の解決を図る上で積極的な役割を果たすことでしょう。又、このサミットを継続的に開催することが全員一致で決定いたしました。当サミットに対する参加各都市共通の願いのあらわれだと思います。参加各都市の代表の方々の信任と委託を頂きまして、第2回アジア太平洋都市サミットが1996年に当地で開催されることとなり、非常に嬉しく思っております。広州市政府、広州市民を代表いたしまして、皆様が広州市を訪れ、会議に参加されますことを心からお待ちいたしております。私どもは、総力をあげて、サミットの開催に向けその準備にあたる所存です。広州市は、中華人民共和国の華南地域の中心都市、交通・商業の中核をなす港湾都市です。15年にわたる改革開放により広州市の社会・経済は大きく発展し、都市自体の質も向上しました。総合的な経済力は、上海、北京に次いで第3位を誇っています。インフラの整備やサービス面での実力も高まり、投資環境や市民の生活環境も大きく改善されました。今、広州市を中心とした大都市の輪郭が形成されつつあります。昨年、広州市は世界大都市協会の会員として正式に登録されました。私達は、今後15年間で近代的な国際都市に成長するという、21世紀に向けた目標を制定し、現在すでにその実施段階に入っております。アジア太平洋地域各兄弟都市の皆様方の変わらぬご支持とご協力を切にお願い申し上げます。議長並びにご列席の皆様、630万の広州市民が皆様のお越しを心からお待ちいたしております。1996年、広州市に集い、我々全地域に存在する都市問題の解決に向けて討議を重ね、連携を強化しましょう。豊かな経済力と安定した社会、発達した交通網、そして快適な居住環境を備えた、大自然と調和のとれた近代都市を築くため、ひいてはアジア太平洋地域のより良い未来のために、共に努力しようではありませんか。ありがとうございました。

司会　どうもありがとうございました。以上をもちまして、「アジア太平洋都市サミット」の閉会式を終了させていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。

共同記者会見

司会（一丸孝憲福岡市報道担当部長） ただ今より「アジア太平洋都市サミット」共同記者会見を始めさせていただきます。まず、地元報道機関を代表いたしまして、福岡市の市政記者クラブの幹事の方からご質問をお願いしたいと思います。

伊藤記者 地元記者会を代表しまして、本日ご出席の都市代表の皆様「アジア太平洋都市サミット」の開催をお喜び申し上げます。このたびは、共同記者会見の席を設けていただきまして、ありがとうございます。そこで、特に遠方よりご出席いただいております海外12都市の代表と桑原敬一福岡市長にご質問させていただきますが、本サミットの意義について、或いは成果について大変失礼ながら各都市1分程度でお伺いしたいと思います。よろしく申し上げます。

司会 それでは、司会の方から順に指名させていただきたいと思います。まず、オークランド市長さんからよろしくお願いたします。

レス・ミルズ市長 ありがとうございます。アジアと交流することは、ニュージーランド・オークランドにとって真のチャレンジと言えます。我国は遠く離れていますし、大きな国ではありません。しかし、今回はこうしてこの数日間、非常に前向きな方向へと参加することが出来ました。これはチャレンジでもあり、又、エキサイティングな経験でもあったと思います。福岡の皆様には感謝を申し上げます。そして、このネットワークをこれから長きにわたって支えていきたいと思っているところであります。と言いますのも、通商、文化、輸入、輸出といったようなことを私どもアジアの一員としてこれからやっていくからです。この太平洋を代表いたしまして、太平洋だけではなく、アジア太平洋と言いますと、非常に世界でも重要な地域になってくるからであります。私どもは、その一員であり、そしてこの機会というものを非常に評価するものであります。ありがとうございました。

司会 それでは、バンコク市の方からお願いします。

クリスタ・アルンボング市長 私は、この会議を組織されました桑原市長のイニシアチブに非常に感銘を受けました。と申しますのも、ほとんどの大都市の問題、特に非常に成長の早い都市の問題というのは、大変よく似ているからです。交通混雑でありますとか、或いは固形廃棄物の処理でありますとか、住宅問題、又、都市の環境が破壊されていたり、或いは排水だとか、或いは大気汚染といったような問題があるわけです。ここに集まった多くの都市の行政官達の中には、これらの問題を以前に経験し、それを解決した方々もおられます。非常に迅速に成長しつつある都市に対して、これらの問題が存在しているわけですが、お互いの経験から解決方法を学び合うことが出来るわけですから、こういった各行政官達がアジア太平洋の都市から集まって友好的な関係を打ち立て、又、同時に経験

をお互いに分かち合うということはとても素晴らしいことだと思います。この点で私は桑原市長にもう一度お礼を申し上げたいと思います。バンコクは次回の会議にも必ず参加させていただきたいと思っております。このサミットは、我々にとっても非常に役に立つ組織だと思いますから。ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。引き続きまして、広州市長さんよろしく願いたします。

黎子流市長 まず、私どもアジア太平洋地域の都市の市長のために、このような貴重な機会を提供してくださった桑原市長並びに福岡市民の皆様に深い感謝の意を表します。この数日間の会議で私達は多くの成果を得ることが出来ました。まず第1に、これだけ多くの国の都市が一堂に会し、都市の発展に伴って生じる様々な問題について討議したことは、非常に意義のある、又、見識のあることだったと思います。第一回目ではありましたが、私達にとっては大切な第一歩でした。2つめは、調和のとれた都市発展という問題についてです。住宅や環境保護、衛生、交通等に関する問題は都市によって状況が異なるため、簡単に具体的な成果があがるものではありません。しかし、問題自体は既に提起されています。次の会議で更に深く検討すれば、各都市の今後の経済発展に大きく寄与できる成果が出るでしょう。この意義を過小評価することは出来ないと思います。第3番目は、各都市が一堂に会したことにより、今後は、2都市間のみならず3つ以上の都市間における多元的な交流が期待できるという点です。私達はこの多元的な交流により、アジア太平洋地域全体の更なる経済発展に向けて大きな一歩を踏み出すことが出来るものと確信しております。最後になりましたが、福岡市の皆様と桑原市長に深い感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。次に、ホーチミン市からよろしく願いたします。

ヴォ・ヴィエット・タン副市長 まず最初に、このような「アジア太平洋都市サミット」の集まりについて高く評価をしたいと思います。このような機会を与えていただきましたことで、他の都市を理解し、そして他の都市の都市開発の成功と失敗について知ることが出来ました。このサミットにおいては、私ども機会を得まして、いろいろと良い教訓を他の都市から学ぶことが出来ました。これは都市開発についてでありますけれども、それとまた同時に同じ間違いを繰り返さないということも学びました。そして、私の方からもまた深い感謝の意を桑原敬一市長に表したいと思います。今回、このような機会を与えてくださりまして、このサミットに参加させていただきましたことを、福岡市の皆様にも感謝を申し上げたいと思います。これは単に我々の都市問題を解決するのみならず、友好的な関係を他の市と結ぶ機会でした。そして将来我々の共通の問題を解決するための協力の架け橋をつなぐことがこれによって出来るものと思います。

司会 ありがとうございました。続きまして、香港の方、どうぞよろしく願いたします。

レオン・テン・ポン・ロナルド市政局主席 私どももこのサミットを高く評価しております。これはとても重要なフォーラムとして各アジア太平洋地域の都市間の意見交換に役立ったと思います。こ

の会議によりまして、いろいろな違った都市が参加し合い、自分自身の都市の運営に関する問題のみならず、他の都市の他の問題についても話し合うことが出来、又、その問題解決方法についても学ぶことが出来ました。このような都市の集まり、サミットといったようなものから国際的なネットワークを構築出来るよう願っております。それによって経験や情報を交換することが出来、それを我々が学び合うことによってお互いに市の行政に役立てることが出来ます。96年には、次の会議が広州で開かれますけれども、今回同様、必ず成功するものと確信いたしております。最後になりましたけれども、福岡市の皆様にこのような成功裡に終わった会議を組織していただきましたことを感謝申し上げたいと思います。

司会 ありがとうございます。次に、イポー市、お願いいたします。

ダト・イスマル・ビン・シャー・ボディン市長 ありがとうございます。福岡の桑原市長、誠に改めてありがとうございます。アジア太平洋地域の都市がこの美しい福岡に一堂に集まりまして、共通の問題を討議をするためのご準備をしていただき、ありがとうございました。これは桑原市長がより良い生活水準をこの地域で確保し、環境を良くしたいとお考えになっている決意の表れではないでしょうか。私達がこのフォーラムを通じてお互いに協力をすることによって、より大きな相互理解を達成することが出来るだろうと思います。又、都市間での友情をも養うことが出来ると思います。将来にわたって、この会議が継続されることを心から祈念しております。それによって都市も市民もアジア太平洋地域において、更に良い発展を遂げる事が出来るでしょう。ありがとうございました。

司会 ありがとうございます。次に、ジャカルタ市、お願いいたします。

H.スタルジアント西ジャカルタ市長 ジャカルタも感謝をいたします。福岡の桑原市長、ありがとうございました。福岡市長のイニシアチブで、この「アジア太平洋都市サミット」が開かれましたし、継続させることが決定されました。そして、今回、このサミットで討議されたことから多くのことを学ぶことが出来ました。又、ここで学んだことをそれぞれの地域や都市に合わせた形で実行していきたいと思っております。ありがとうございました。

司会 ありがとうございます。引き続きまして、クアラルンプール市、お願いいたします。

ジャヤマラン・S/O・マヌサミー市長特別顧問 やはり私もまず最初に福岡市長にこんなに素晴らしい会議を開催して下さったことに対し、お礼申し上げます。会議も楽しいものでしたし、それから福岡の滞在も大変素晴らしいものでございました。又、桑原市長がリーダーシップをとって、この会議を開き、96年に第2回が開かれるようにしたことに感謝いたします。クアラルンプールは急成長している市でございまして、多くの問題がありますが、交通、環境、住宅という三重苦にあえいでおります。今回の討議を通じまして、私どもは多くの経験を得ることができました。もしかしたら、これらの提言をいくつか実行することが出来るかもしれませんし、他の都市とこれからも交流を持っていくことが出来るだろうと考えております。又、それだけではなくお願いがございます。このような

友好的な会議を持つだけでなく、技術的な知識をも交流していただきたいのです。そうすれば、日本の皆様の技術を他の国は学ぶことが出来ます。それによって、それぞれの都市もお互いに競争することはなく、平和に共存することが出来るのではないかと思うのです。ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。次に、マニラ市、お願いいたします。

アルフレドゥ・S・リンム市長 私も心から祝意を表明したいと思います。桑原市長、こんなにすばらしい「アジア太平洋都市サミット」を開催していただきまして、ありがとうございました。そして、本当に寛容な形で日本の方達が、又、福岡の市民の皆様が、私達を受け入れてくださいました。部品全ての合計が全体だと申します。つまり全ての国において、特に部品である都市を進歩開発させることによって、全体の国づくりになると思いますし、その国の国民性を高めることが出来ると思います。個人の間にもまず友情を築くことが、各国間の平和で協調的な関係の第一歩であり、それが各都市間から始まろうとしております。これこそがこの会議の意義であると思います。

司会 ありがとうございました。引き続きまして、釜山直轄市、お願いいたします。

李 龍虎国際協力担当官 まず、国内のやむを得ない事情により市長が最後まで出席出来ず、国際協力担当官である私が代理を務めることになり、大変申し訳なく思っております。アジア太平洋地域の11カ国・地域、21都市の行政代表者が一堂に会し、「都市の発展と人間居住環境との調和」というテーマのもとでお互いに忌憚ない意見を交換した結果、来る21世紀の環太平洋時代に備え、都市間の相互交流・相互協力が何よりも重要であるということで合意いたしました。このような会議の必要性は、私ども全員が感じていたことではありますが、このことに先に着目・提案し、国際都市会議として発展させたという点で、桑原敬一福岡市長に敬意を表するとともに賛辞を贈りたいと思います。今後このような会議を単なる会議で終わらせず、確実にアジア太平洋地域の発展へとつないでいくためには、地域や国境を超えた相互理解と相互協力が不可欠であると思います。又、どんなに些細なことでも両者が利益を得られる共通分野を選び、人的・物的交流を深めるべきだと思います。ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。上海市、お願いいたします。

夏 克強副市長 今回のサミットは大成功だったと思います。先ほどの閉会式の共同宣言は、まさにこの会議が成功したことの歴史的な証となるでしょう。まず上海市人民政府を代表いたしまして、桑原市長と福岡市民の皆様が本会議の成功に向けてなされたご努力に対し、深く感謝申し上げます。世界経済の発展は、今まさにアジア太平洋の時代に突入しております。このような時勢にあって、上海はここ数年、経済面で急速かつ健全な発展を続けて参りました。私どもも現在21世紀に向けての発展計画を立て、今後どのようにしてこの経済発展を長期に持続させていくかを検討しているところです。又、経済発展の過程には、交通や住宅、環境、衛生等に関する問題も生じてきています。今回のサミットで私達は、こうした都市が抱える共通問題について、それぞれの経験とそこから生まれた教訓とを分かち合うことが出来まし

た。であるからこそ、この会議が我々アジア太平洋地域各都市の今後の持続的で健全な経済成長に大きく寄与することが出来るものと確信いたしております。私どもは、これからもこのような会議に是非参加していきたいと思っております。この機会に、新聞記者各位にも御礼申し上げます。ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。次に、シンガポール、お願いいたします。

マタイヤス・ヤオ・チー国家開発省政務次官 2日間、大変に良い討議を持つことが出来まして、お互いの経験から学ぶことが出来ました。そして、また知識を分かち合うことも出来ました。しかし、ここで一番大事なことは、このサミットによって、私達が討議を継続的に持つことが出来ることであります。市政についても、技術的なレベルについても、これから継続討議が出来ることをうれしく思います。桑原市長、大変にすばらしいリーダーシップをとってくださりましてありがとうございました。市長のお蔭で、アジア太平洋地域の都市がこれから先も協力していくことが出来るようになりました。又、問題に対する具体的な解決策も得ることが出来るだろうと思います。私どもの開発にとって、今回の成果を直接に生かすことが出来ると思います。シンガポールはこのサミットに参加することが出来、大変光栄に存じております。皆様から学ぶことも出来ました。ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。では最後に、福岡市長、お願いいたします。

桑原敬一市長 2つのことを、今印象として持っております。1つは、私ども、呼びかけ人でありまして、先ほどからお話のようにこの会議が成功したということをおっしゃっていただいたことについて満足しております。1989年によかトピア・アジア太平洋博覧会を行いまして、アジア太平洋はいろいろな面で仲良くしていこうという理念、それを引き継ぎながら、特に文化・芸術を中心にして交流を進めてきましたけれども、もう一歩進んで、行政的な何かお役に立つことはないだろうかと模索をいたしまして、「アジア太平洋都市サミット」というのを考案したわけでございます。今日、11都市の方がご賛同いただいて福岡まではるばるおいでいただきました。そのこと自体がもう既に成功したのではないかなと思っておりますけれども、会議を通じて私どもから申し上げるまでもなく、「この会議を1回で終わらせたくない、継続していきたい」と言うご発言が各分科会で出まして、最終的に2年後、1996年に広州市で行われるという結論が出ました。このことが、今度の会議を成功させた証左ではないかなと思っております。2つ目は、私どもは国際交流というのは、姉妹都市を通じて二国間交流が多うございますけれども、初めてこういう多国間の行政交流という形でネットワークが出来たというのは、おそらく珍しい、自治体にとっては初めてのことでないかなということで、大変、私、各都市に感謝を申し上げているわけでございます。ネットワークが出来ますれば、会議自体は1年置きかもしれませんけれども、常時情報の交換が出来ますし、先ほどご指摘がありましたような技術的な交流或いは援助、そういうことも出来ましようし、そして大事なことは、このネットワークの中からアジア太平洋の友情が築かれていく。それがひいてはアジア太平洋の平和・発展につながると、そういう意味で今度の会議は私としては満足でございます。以上でございます。

司会 ありがとうございました。時間も限られておりますが、ご質問ございますでしょうか。ございましたら挙手をお願いしたいと思います。

柳原記者 今回アジア太平洋という地域で行ったわけですが、アジアと一言に言っても地域的に広い分野でございます。今回、例えば西南アジア、向こうの例えばインドですとか、バングラデシュ等の国から参加していませんが、将来的にそういうところの参加も呼びかけていくのか、将来的にどのくらいの各都市の数の規模になれば良いと、どんどん増えていけば良いとお考えなのか、その点について桑原市長に現在のお考えをお伺いしたいと思います。

桑原敬一市長 地域をどこまで対象にするか、大変難しい問題がありますけれども、今回考えましたのは、アジア太平洋、特にアジアの沿岸部で発展の著しい地域、そしていろいろな都市問題が起こっている地域をまず考えました。その中でもたくさんありますけれども、姉妹都市の関係があったり、或いは福岡と航空路線が結ばれていて非常に関係が深いと、そういったいろいろな要素でとりあえず第1回というのはあまり大きく広げるよりも緊密な関係が既にあるところを中心にして、とりあえず第1回は行ったのでございます。従って、今後ご希望の国があれば、今日の11カ国の皆様方、或いは九州の各主要都市の方々と十分相談をしながら追加することはやぶさかではないと思っております。

司会 ありがとうございました。それでは時間の都合もございまして、最後にもう一方ございましたら、お願いいたします。

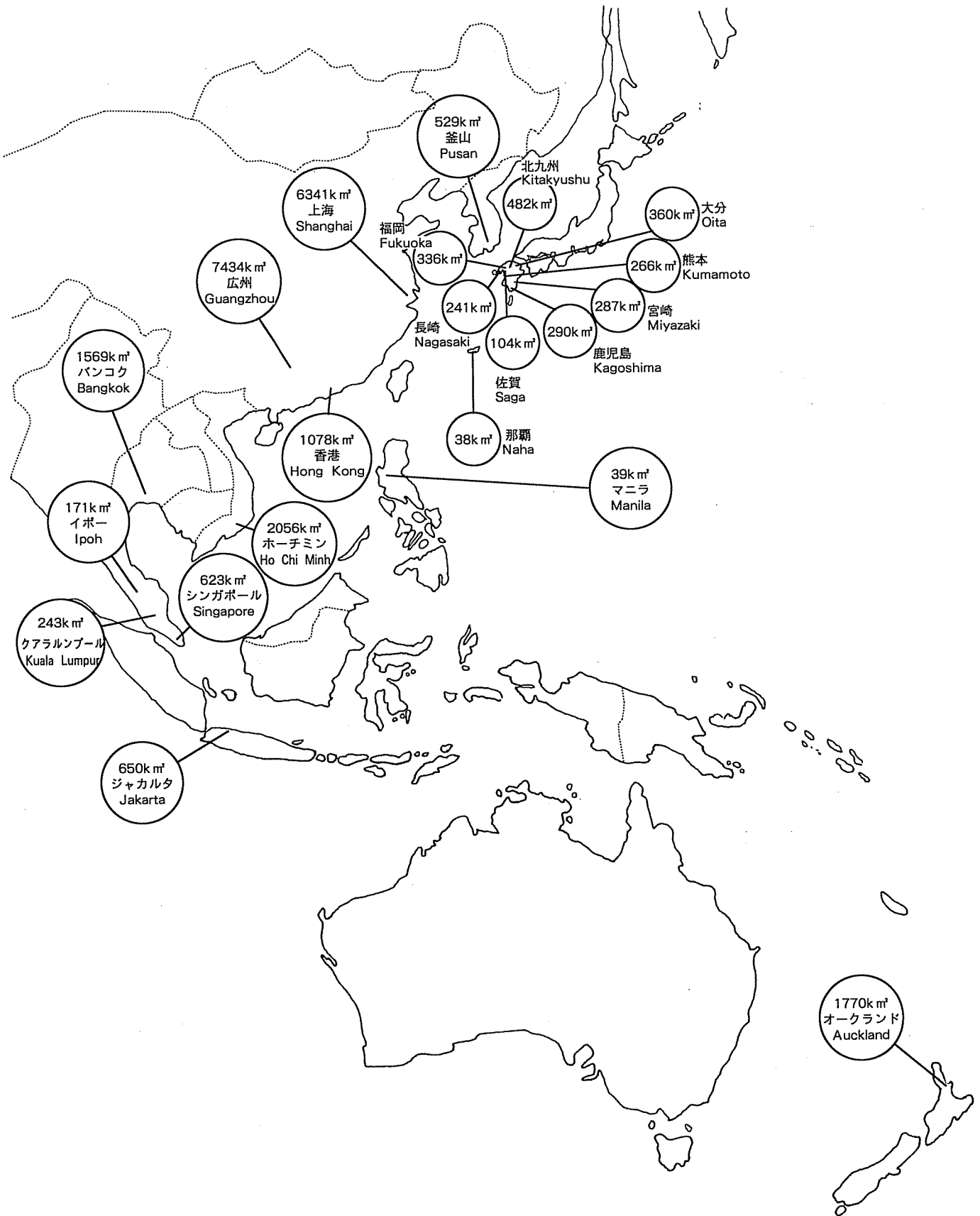
バンバン・スカルチオノ記者 バンバン・スカルチオノと申します。コンパスデイリー・ジャカルタからまいりました。私の質問は座長、桑原市長にお聞きしたいと思います。先ほどおっしゃいましたように、このサミットの継続ということについて、例えば技術的な援助ですとか、又は共同作業というものが可能だとおっしゃったんですけれども、実際どのような具体的な技術援助、又は技術協力をお考えでしょうか。まずそれが1つ目の質問です。もう1つ、アジアのいくつかの都市には財政的な困難を抱えているところがあります。つまり都市開発と人間の住環境のバランスをとるには財政的な困難があるわけです。このような財政問題を解決するために、例えば共同の協力といいますか、財政面での援助について、どうお考えでしょうか。

桑原敬一市長 技術援助につきましては、今日も釜山の方から総会的な会議の他に実務者会議を持ってほしいということで、これも合意をいたしました。それは、どういう技術援助かというのは、これから詰めてまいりますけれども、とりあえず交通について技術会議をやりたいということでございますから、早速これは関係者と相談をして技術援助、技術会議、そういうものは実行に移していきたいと思っております。それから具体的な都市開発についての援助は、福岡市は一地方自治体でございますから、それほど出来ません。ODAというのは、国としての援助方式がありますので、そういうものが活用出来るかどうかというのは十分研究をしたいと思っております。ただ、この会議について、この会議を継続するについて、私どもが協力出来ることがあれば協力をしてまいりたいと思っております。

司会　　どうもありがとうございました。まだ質問はあろうかと思いますが、時間もまいりましたので、これで「アジア太平洋都市サミット」共同記者会見を終了させていただきます。どうぞご協力ありがとうございました。(拍手)

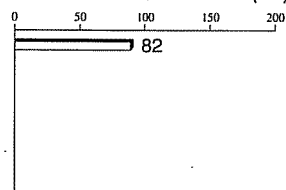
參加都市基礎資料

面積 / Area

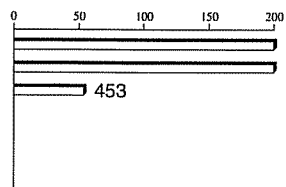


人口 / Population

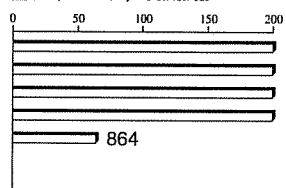
■ オークランド / Auckland ('91)



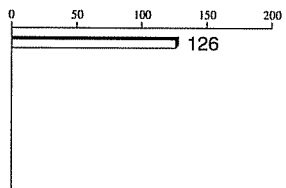
■ ホーチミン / Ho Chi Minh



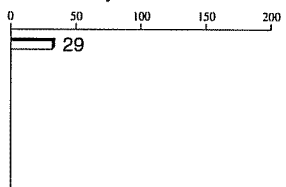
■ ジャカルタ / Jakarta



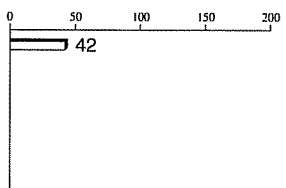
■ クアラルンプール / Kuala Lumpur



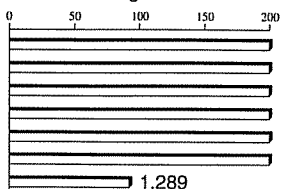
■ 宮崎 / Miyazaki



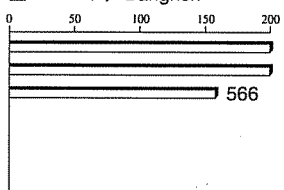
■ 大分 / Oita



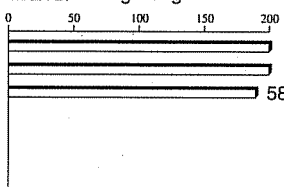
■ 上海 / Shanghai



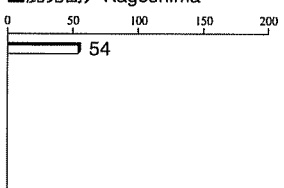
■ バンコク / Bangkok



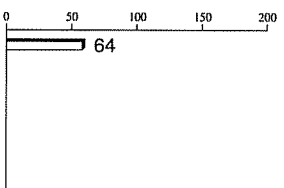
■ 香港 / Hong Kong



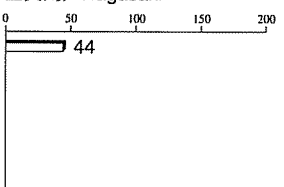
■ 鹿児島 / Kagoshima



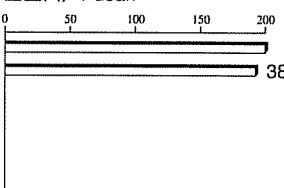
■ 熊本 / Kumamoto



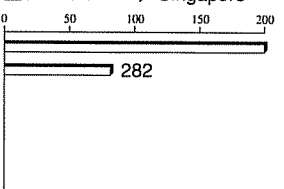
■ 長崎 / Nagasaki



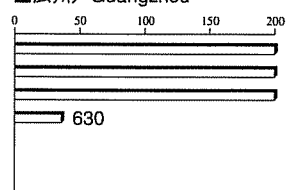
■ 釜山 / Pusan



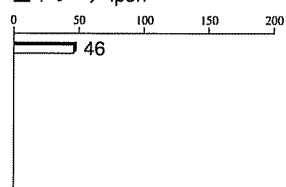
■ シンガポール / Singapore



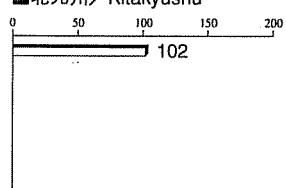
■ 広州 / Guangzhou



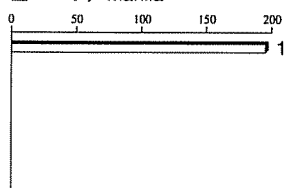
■ イポー / Ipoh



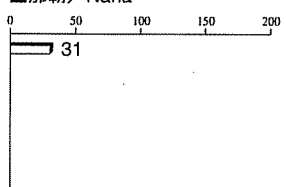
■ 北九州 / Kitakyushu



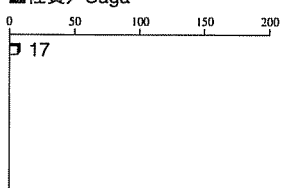
■ マニラ / Manila



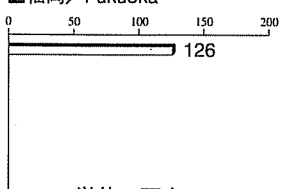
■ 那覇 / Naha



■ 佐賀 / Saga



■ 福岡 / Fukuoka

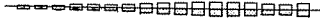


単位：万人
Units: 10,000 people

(1992年度資料より / Compiled from 1992 data)

年齢・男女別人口 / Population by Age and by Sex

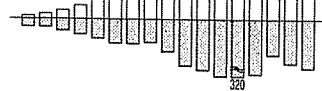
■ オークランド / Auckland ('91)
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



■ バンコク / Bangkok
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



■ 広州 / Guangzhou
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



■ ホーチミン / Ho Chi Minh
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



■ 香港 / Hong Kong
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



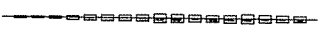
■ イポー / Ipoh

N A

■ ジャカルタ / Jakarta
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



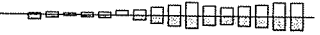
■ 鹿児島 / Kagoshima
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



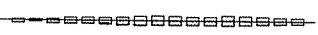
■ 北九州 / Kitakyushu
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



■ クアラルンプール / Kuala Lumpur
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



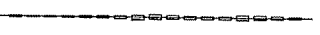
■ 熊本 / Kumamoto
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



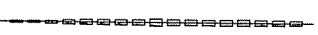
■ マニラ / Manila
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



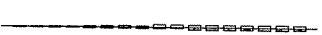
■ 宮崎 / Miyazaki
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



■ 長崎 / Nagasaki
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



■ 那覇 / Naha
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



■ 大分 / Oita
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



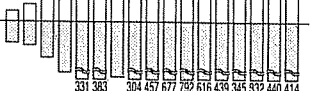
■ 釜山 / Pusan
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



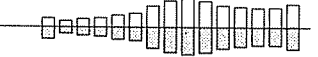
■ 佐賀 / Saga
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



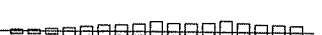
■ 上海 / Shanghai
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



■ シンガポール / Singapore
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4



■ 福岡 / Fukuoka
 807570656055504540353025201510 5 0
 7974696459544944393429241914 9 4

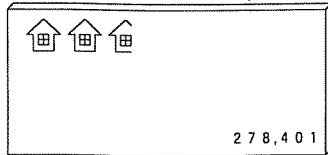


上：男性 下：女性
 Top: male Bottom: female

(1992年度資料より / Compiled from 1992 data)

世帯数 / Number of Households

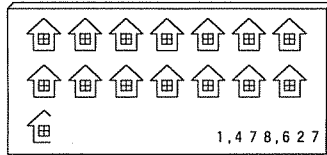
■ オークランド / Auckland ('91)



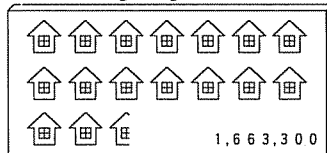
■ ホーチミン / Ho Chi Minh

N A

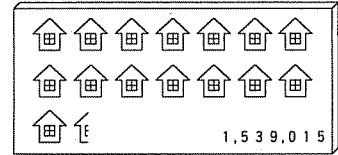
■ バンコク / Bangkok



■ 香港 / Hong Kong



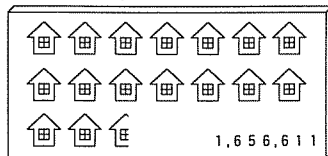
■ 広州 / Guangzhou



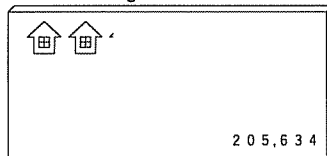
■ イポー / Ipoh

N A

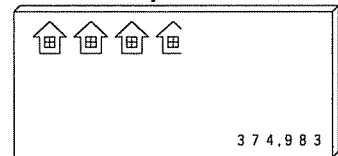
■ ジャカルタ / Jakarta



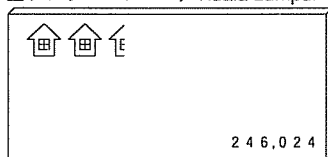
■ 鹿児島 / Kagoshima



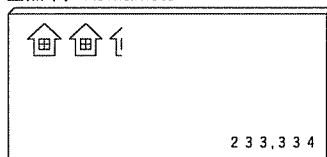
■ 北九州 / Kitakyushu



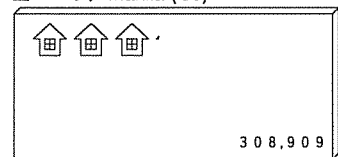
■ クアラルンプール / Kuala Lumpur



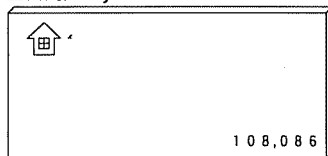
■ 熊本 / Kumamoto



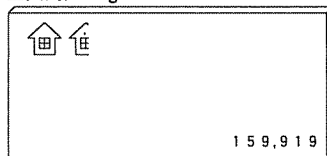
■ マニラ / Manila ('90)



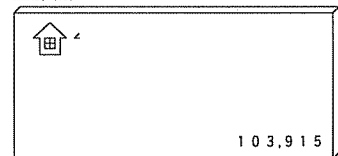
■ 宮崎 / Miyazaki



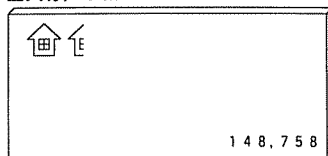
■ 長崎 / Nagasaki



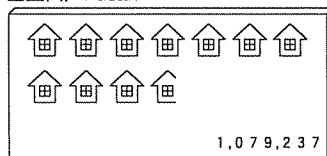
■ 那覇 / Naha



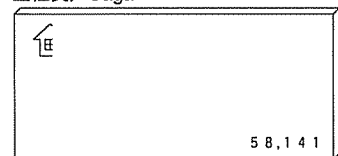
■ 大分 / Oita



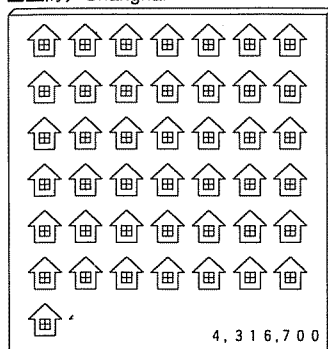
■ 釜山 / Pusan



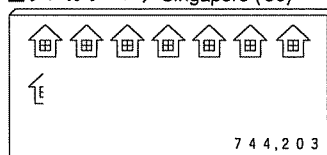
■ 佐賀 / Saga



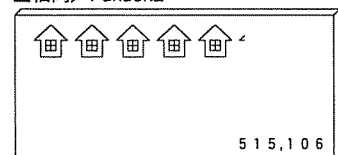
■ 上海 / Shanghai



■ シンガポール / Singapore ('90)



■ 福岡 / Fukuoka



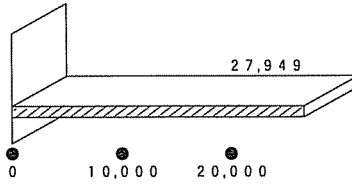
単位：世帯
Unit: Number of households
(1992年度資料より / Compiled from 1992 data)

産業別市内総生産 / City's Gross Output by Industrial Sector

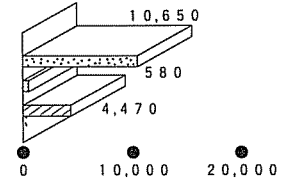
■ オークランド / Auckland

N A

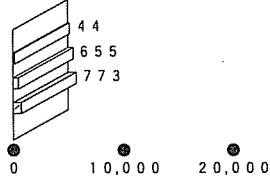
■ バンコク / Bangkok



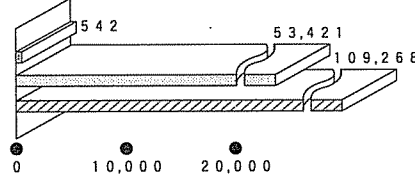
■ 広州 / Guangzhou



■ ホーチミン / Ho Chi Minh



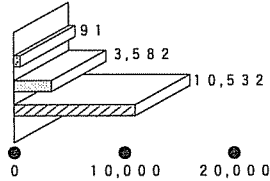
■ 香港 / Hong Kong



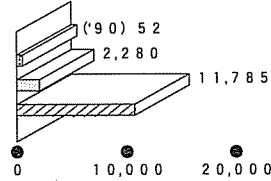
■ イポー / Ipoh

N A

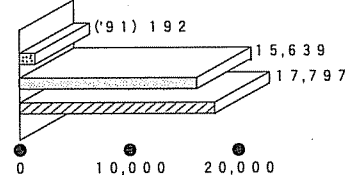
■ ジャカルタ / Jakarta



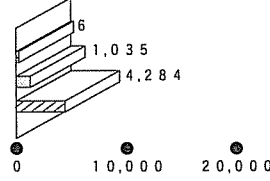
■ 鹿児島 / Kagoshima



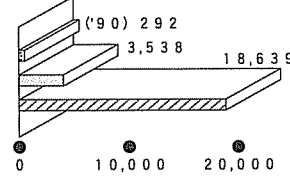
■ 北九州 / Kitakyushu



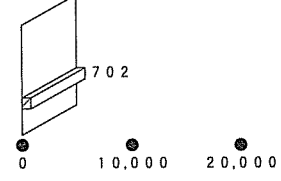
■ クアラルンプール / Kuala Lumpur



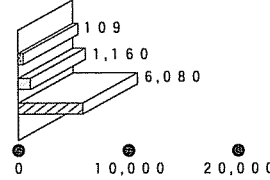
■ 熊本 / Kumamoto



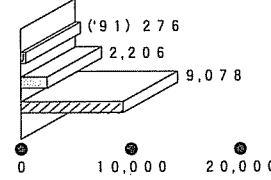
■ マニラ / Manila



■ 宮崎 / Miyazaki



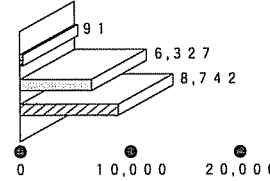
■ 長崎 / Nagasaki



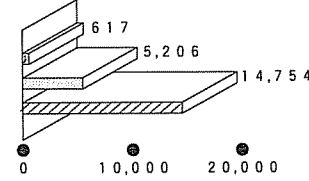
■ 那覇 / Naha

N A

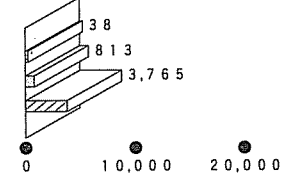
■ 大分 / Oita



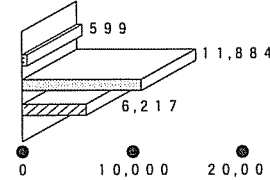
■ 釜山 / Pusan



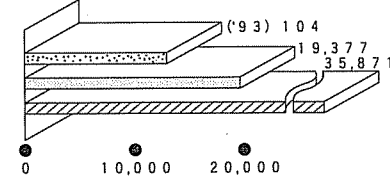
■ 佐賀 / Saga



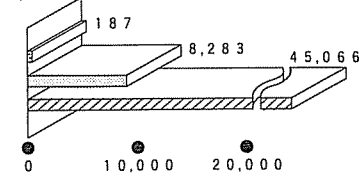
■ 上海 / Shanghai



■ シンガポール / Singapore



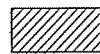
■ 福岡 / Fukuoka



一次 Primary



二次 Secondary



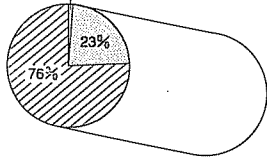
三次 Tertiary

単位：百万 USドル
Units: millions of US dollars

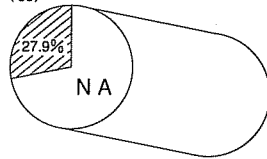
(1992年度資料より / Compiled from 1992 data)

産業別就業者比率／Employment Rate by Industrial Sector

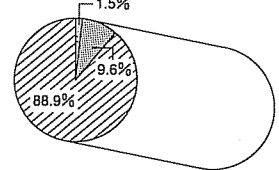
■ オークランド/Auckland ('93)



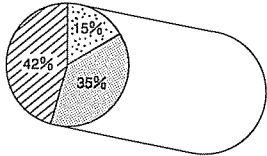
■ バンコク/Bangkok ('89)



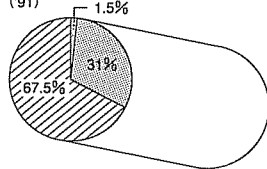
■ 広州/Guangzhou



■ ホーチミン/Ho Chi Minh



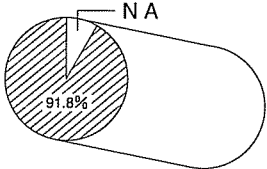
■ 香港/Hong Kong ('91)



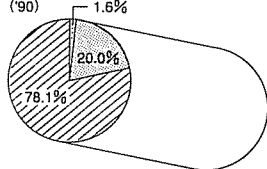
■ イポー/Ipoh

N A

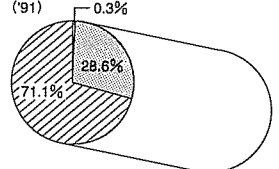
■ ジャカルタ/Jakarta



■ 鹿児島/Kagoshima ('90)



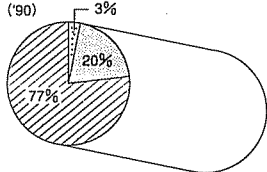
■ 北九州/Kitakyushu ('91)



■ クアラルンプール/Kuala Lumpur

N A

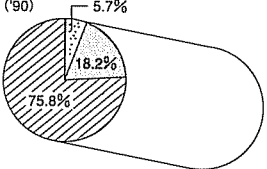
■ 熊本/Kumamoto ('90)



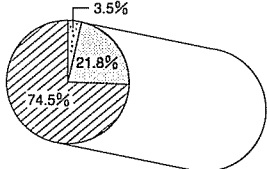
■ マニラ/Manila

N A

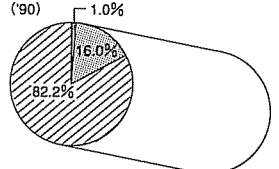
■ 宮崎/Miyazaki ('90)



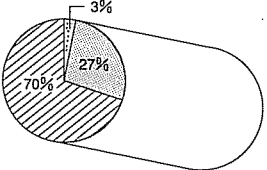
■ 長崎/Nagasaki



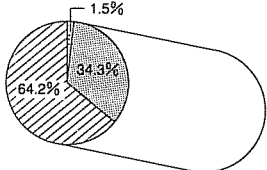
■ 那覇/Naha ('90)



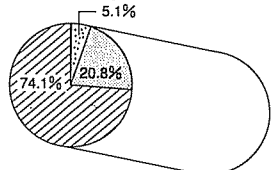
■ 大分/Oita



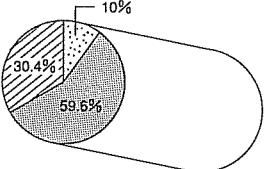
■ 釜山/Pusan



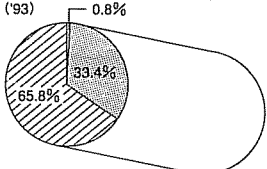
■ 佐賀/Saga



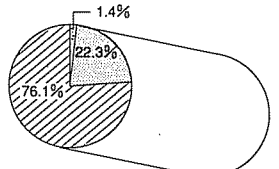
■ 上海/Shanghai



■ シンガポール/Singapore ('93)



■ 福岡/Fukuoka



一次 Primary



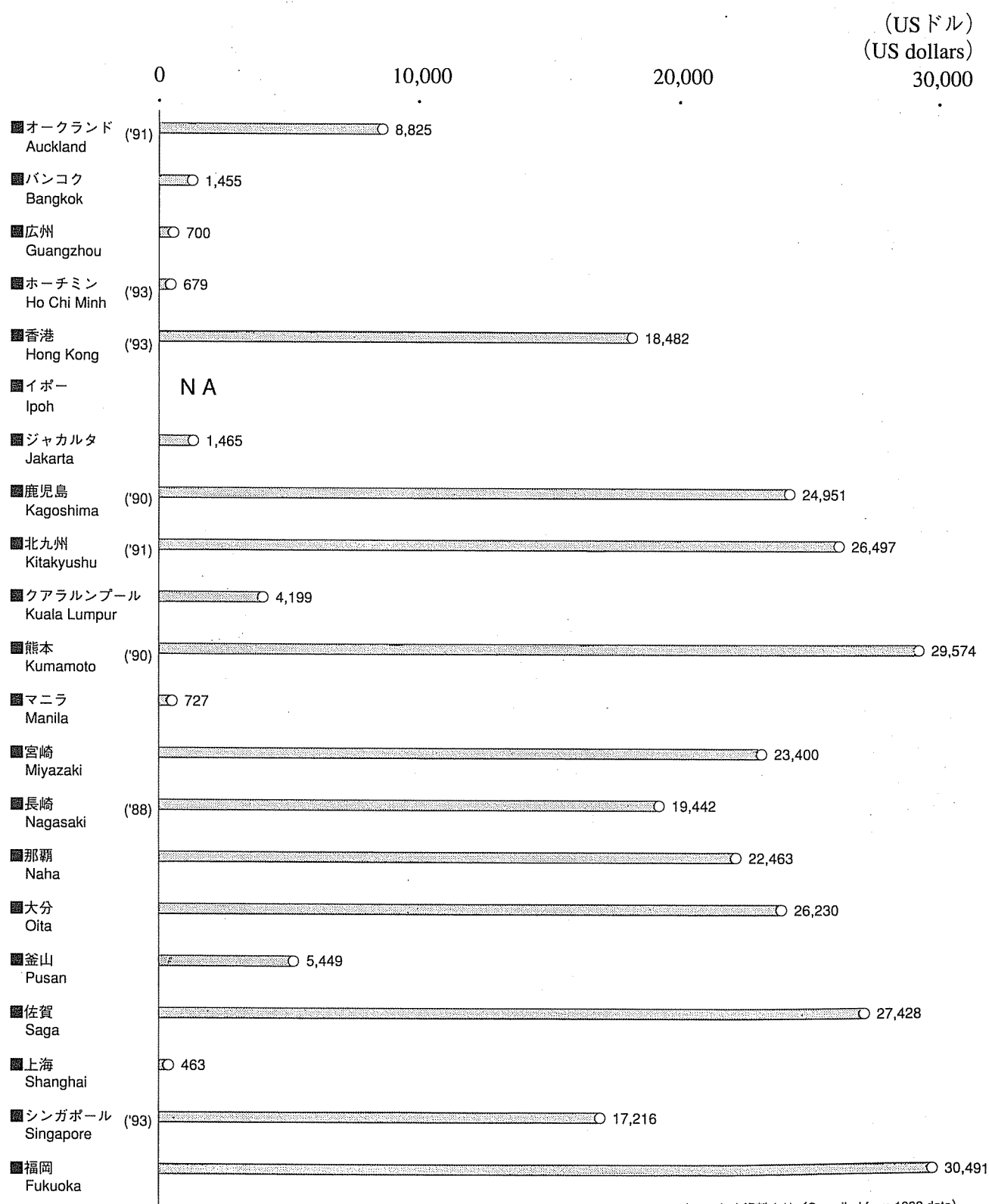
二次 Secondary



三次 Tertiary

(1992年度資料より/Compiled from 1992 data)

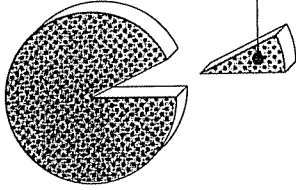
1人あたり市民所得 / Citizen's per Capita Income



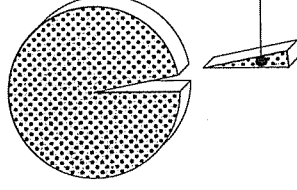
(1992年度資料より / Compiled from 1992 data)

失業率 / Unemployment Rate

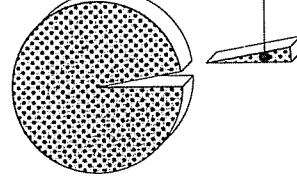
■オークランド/Auckland ('91) 7.0%



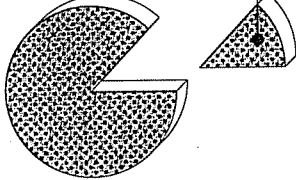
■バンコク/Bangkok 3.0%



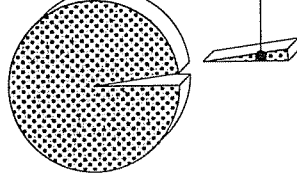
■広州/Guangzhou 2.6%



■ホーチミン/Ho Chi Minh 1.3%



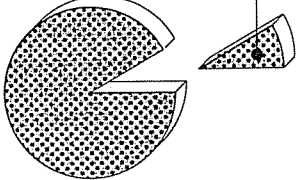
■香港/Hong Kong 2.0%



■イポー/Ipoh

N A

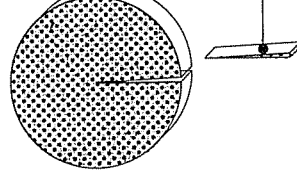
■ジャカルタ/Jakarta 8.2%



■鹿児島/Kagoshima

N A

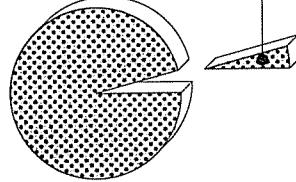
■北九州/Kitakyushu 0.8%



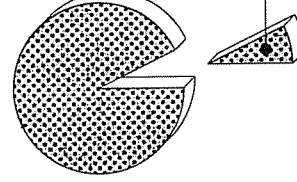
■クアラルンプール/Kuala Lumpur

N A

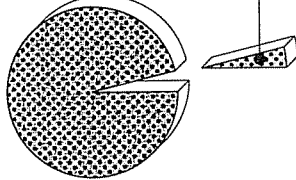
■熊本/Kumamoto ('90) 4.0%



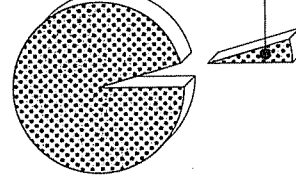
■マニラ/Manila ('90) 7.0%



■宮崎/Miyazaki 3.8%



■長崎/Nagasaki ('90) 4.2%



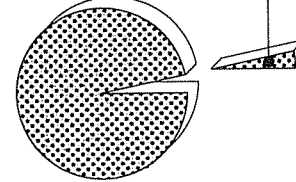
■那覇/Naha

N A

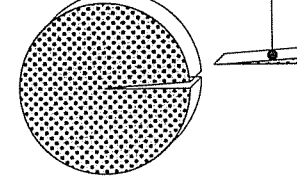
■大分/Oita

N A

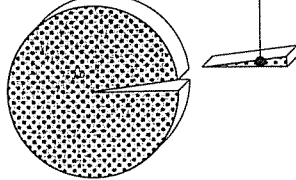
■釜山/Pusan 3.3%



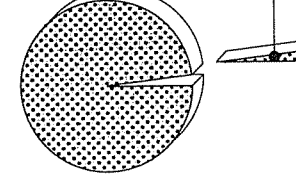
■佐賀/Saga 1.1%



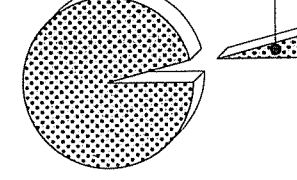
■上海/Shanghai 1.7%



■シンガポール/Singapore ('94) 1.6%



■福岡/Fukuoka 4.0%



(1992年度資料より / Compiled from 1992 data)

財政規模 / Scale of Finance

■オークランド / Auckland

NA

■バンコク / Bangkok

NA

■広州 / Guangzhou



921

■ホーチミン / Ho Chi Minh

NA

■香港 / Hong Kong



14,800

■イポー / Ipoh

NA

■ジャカルタ / Jakarta



621

■鹿児島 / Kagoshima



1,563

■北九州 / Kitakyushu



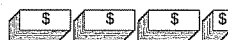
8,022

■クアラルンプール / Kuala Lumpur



296

■熊本 / Kumamoto



3,290

■マニラ / Manila

NA

■宮崎 / Miyazaki



447

■長崎 / Nagasaki



1,521

■那覇 / Naha



457

■大分 / Oita



1,011

■釜山 / Pusan



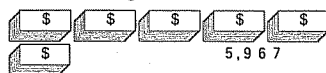
3,491

■佐賀 / Saga



418

■上海 / Shanghai



5,967

■シンガポール / Singapore



(93) 8,754

■福岡 / Fukuoka



13,962

単位：百万 USドル
Units: millions of US dollars
(1992年度資料より / Compiled from 1992 data)

3 行政視察

プログラム

時 間	内 容
9:20	ホテルニューオータニ 1階ロビー 参加者集合
9:30	ホテルニューオータニ 出発
9:40	福岡市都市高速 呉服町ランプ通過 ～福岡市の交通施設の視察として
9:50	福岡市都市高速 百道ランプ通過
9:55	福岡ドーム着 《福岡ドーム見学》
11:00	福岡ドーム発
11:10	福岡タワー着 《福岡タワー見学》
11:50	福岡タワー発 《シーサイドももち・マリナタウン車上看学》 ～福岡市の集合住宅の視察として
12:10	マリノア着
昼食（マリノアレ스토랑）	
13:25	マリノア発
13:40	西部清掃工場着 《西部清掃工場見学》 ～福岡市の環境施設の視察として
14:40	西部清掃工場発
14:45	リサイクルプラザ着 《リサイクルプラザ見学》 ～福岡市の環境施設の視察として
15:15	リサイクルプラザ発
15:35	福岡市美術館着 《第4回アジア美術展見学》
16:25	福岡市美術館発
16:45	ホテルニューオータニ着

4

歓迎行事

(1) 福岡市長訪問

- 日 時：9月22日（木）午前10時30分～11時
- 場 所：市庁舎9階 庁議室
- 歓迎挨拶：福岡市長 桑原敬一
- 参加都市代表挨拶：オークランド市長 レス・ミルズ
- 記念品：世界時計

(2) 歓迎夕食会

- 日 時：9月22日（木）午後6時30分～8時
- 場 所：ホテルニューオータニ博多「鶴の東・飛翔」
- 主催者挨拶：アジア太平洋都市サミット実行委員会会長 桑原敬一
- 来賓代表挨拶：駐日本インドネシア特命全権大使 プジ・クントルソ
- 乾 杯：実行委員会副会長 山下敏明
- アトラクション：金獅子太鼓

主催者挨拶

アジア太平洋都市サミット実行委員会会長 桑原敬一

ただいまご紹介をいただきました福岡市長の桑原でございます。皆様、ようこそ福岡においでいただきました。地元の産・学・官で構成いたしております、先ほどご紹介がございましたアジア太平洋都市サミット実行委員会を代表いたしまして、心からご歓迎を申し上げたいと存じます。本日から9月25日までの4日間、皆様方と貴重な時間をご一緒できることを誠に光栄に存じます。

さて、ここ福岡市は紀元57年に中国の後漢の光武帝より日本の奴国王に贈られました金印、そして7世紀から11世紀まで外国からの賓客を迎える迎賓館でありました鴻臚館の跡が発掘されましたことに代表されますように、日本とアジア大陸との海外交流の拠点といたしまして、重要な経済・文化の受入れ窓口として発展してまいりました。また、750年の伝統をもち、日本の三大祇園祭に数えられます博多祇園山笠等の日本古来からの伝統行事を受け継いできたところでもございます。現在福岡市はそのような過去の豊かな歴史を生かしながら、21世紀に向けて、海に開かれたアジアの交流拠点都市としての地位を占めているところでございます。福岡市に滞在中に、是非このような福岡市のまちづくりの現状を皆様方の目でご覧いただければ幸いです。また、このサミット参加各都市の皆様方が相互交流を深められます契機となればと思っております。サミット期間中に皆様方の交流の輪が広がり、また新たな交流の芽が芽生えることをご期待申しておきます。

最後になりましたが、会議にご参加いただきました皆様方の福岡でのご滞在が楽しいものでありますように、また皆様方が今後ますます活躍されますように祈念いたしまして、歓迎のご挨拶といたします。どうもありがとうございました。（拍手）

来賓代表挨拶

駐日本インドネシア共和国特命全権大使 プジ・クントルソ

福岡市長閣下、ご来賓の皆様、そしてご臨席の皆様方、東京の各国の大使及び大使館各代表の皆様方を代表いたしまして、今回のアジア太平洋都市サミットに参加するために、この美しい町、福岡にお招きいただきましたことに対し、感謝の言葉を述べることを大変光栄に思う次第でございます。福岡市のご努力によりまして、アジア太平洋地域の21の都市の市長が一堂に会して、お互いに共通する問題の解決策を見つけるために意見交換するという事は誠に称讃に値することだと、私は考えております。アジア太平洋地域は急速に発展いたしました、同時に経済成長の結果として、都市問題も同時に起こってまいりました。ですから、このフォーラムを通じましてお互いの問題解決を図る必要性ができております。これは、アジア太平洋各都市の協力のネットワークを広げていくというフォーラムなのです。都市サミットの開催は、この地域を世界の他の地域とつなげていこうという、福岡市の強い決意の表れでございますし、特にアジア太平洋地域各都市と積極的な交流を図ろうとしておられます。このような交流は疑いもなく、お互いの親善と理解を深めるものと、ここに確信いたしております。この会議が大きな成果を残しまして、テーマであります「アジア太平洋時代における都市の発展と人間居住環境の調和」が実現しますことを心より祈念しております。

最後に福岡市のご歓待とご厚情に感謝し、会議の成功をお祈り申し上げます。どうもありがとうございました。(拍手)

③ 送別夕食会

- 日 時：9月24日（土）午後6時30分～8時
- 場 所：ホテルニューオータニ博多「あやめ」
- 福岡市代表挨拶：福岡市長 桑原敬一
- 参加都市代表挨拶：香港市政局主席 レヨン・テン・ボン・ロナルド
- 博多人形贈呈：参加都市代表バンコク市長 クリスダ・アルンボンゲ
- 乾 杯：福岡市助役 友池一寛
- アトラクション：博多独楽

福岡市代表挨拶

福岡市長 桑原敬一

どうも皆様、こんばんは。22日から今まで3日間会議がございまして、大変お疲れであったと思います。お蔭様で会議は大変成功裡に終わったように思います。12都市の外国の市長様、そして国内の九州の各市長様、21都市になりますが、この会議によりまして、ネットワークができて、今後ますます回を重ねるにしたがって、友情が更に深まると思います。また、今後この会議も継続できることになりまして、1996年には、広州市で第2回目を催そうというコンセンサスができましたことを大変嬉しく思います。明日は、福岡市が自慢の清掃工場とか、或いは福岡ドームとか、美術館にご案内いた

す予定にいたしております。そして、夜はアジアマンスというお祭りにご参加いただくようになっております。どうぞ、最後まで福岡のご滞在をお楽しみいただきたいと念じておるところでございます。

今日は、この会議を手伝ってくれました、市の職員も一緒におりますので、皆様ともどもお楽しみいただきたいと思います。ありがとうございました。(拍手)

参加都市代表挨拶

香港市政局主席 レヨン・テン・ボン・ロナルド

桑原市長閣下、そして各都市の参加市長様、ご来賓並びにご出席の皆様方、参加都市を代表いたしまして、ここに福岡市に対しまして、そして実行委員会の皆様方、その他会議の成功に向けて参加されました皆様方に対しまして、感謝の意を表します。多くの時間と努力とそして資源がこの会議の成功のため費やされたものと思います。私、特に印象づけられましたことは、皆様の温かい歓待ぶり、更に伝統的な日本のやり方による卓越したアレンジメントがあったということであります。皆様、私に同意してくださると思いますけれども、お互いに多くを学び合い、各都市の抱える問題について理解し合ったということに間違いのないと思います。更には都市における戦略に向けて意見を交わしまして、お互いの解決策を探ったということも言えると思います。大変良いスタートを切りまして、お互いにネットワークをつくったということは間違いのないわけでありまして、アジア太平洋地域において、各都市行政の一層の向上のために、今後更に情報や経験等を交換していきたいと思っております。

今晚をもちまして、これが送別の席となるわけではありますが、私が確信をもって言えますことは、この都市サミットがまず最初に福岡によって、すばらしい出発を遂げ、今後ますます発展するということです。更には、広州市が1996年に次のサミットを責任をもって主催するということを表明されたわけでありまして、ここにいらっしゃる参加の市長様方、またその他の方々に対しまして、今後2年間にわたりまして、広州市にご協力とご支援をいただきますよう、この場をおかりしてお願い申し上げます。

最後に福岡市の皆様方、どうもありがとうございました。さようなら。(拍手)

(4) 同伴者プログラム

9月23日（金）

時 間	内 容
10:00	ホテルニューオータニ出発、百道浜へ
10:30	百道浜からマリンライナーで海の中道へ、着後マリンワールドへ
11:00	マリンワールド館内、イルカショー見学
12:30	海の中道ホテルへ
12:40	海の中道ホテルで昼食
13:40	海の中道ホテル出発、香椎～都市高速～呉服町
14:20	聖福寺見学
15:00	櫛田神社（飾り山）見学
16:00	ホテルニューオータニ帰着

9月24日（土）

時 間	内 容
9:30	ホテルニューオータニ出発、友泉亭公園へ
10:00	友泉亭公園にて「生け花」と「お茶」を楽しむ
12:00	昼食（茶会席） 昼食後、友泉亭公園内散策
13:30	友泉亭公園出発、天神へ
14:00	天神でショッピング
16:30	ホテルニューオータニ帰着

5 サミット関連事業

アジア太平洋都市サミットの成果をアジアを中心に広く広報するとともに、海外からのサミット参加都市を福岡市民が理解し、今後の多様・多層な交流を推進するために、更には、サミットの開催記念及び都市連盟の構築のために関連事業を実施した。特に、アジア太平洋フェスティバル（アジアナイトパレード）には、各都市の代表者が参加した。

(1) アジア太平洋都市写真展

各都市の代表的な風景・建物等の写真パネル展

1994年9月19日（月）～9月25日（日）

於：福岡市庁舎1階ロビー

アジアマンス委員会主催

(2) アジア太平洋都市サミットフェア

各都市の物産品の展示・即売、伝統工芸品製作の実演、文化・観光情報の提供

1994年9月21日（水）～9月25日（日）

於：天神岩田屋

アジアマンス委員会主催

(3) アジア太平洋都市サミット記念博多人形贈呈

サミット開催を記念し、各都市の人形を福岡市の伝統産業である博多人形で制作

1994年9月24日送別夕食会の席で贈呈

(4) アジア太平洋フェスティバル（アジアナイトパレード）

1994年9月25日（日） 18：30～20：30

於：明治通り（呉服町交差点～天神：福岡市庁舎前）

アジア太平洋フェスティバル実行委員会主催

(5) アジアプレスシンポジウム'94

アジア6カ国6新聞社が一堂に会し、「都市の光と影」をテーマに都市問題に関する新聞の役割や今後の取り組みについて論議

1994年9月26日（月） 13：30～17：00

於：福岡市庁舎15階講堂

パネリスト：広州日報社（中国）、コンパス社（インドネシア）、釜山日報社（韓国）

マレイ・メール社（マレーシア）、ベリータ・ハリアン社（シンガポール）

マティション社（タイ）

財団法人福岡国際交流会主催